

本来の日本は秩序と助け合いの国

我が国が「言霊の幸はふ国」と言われてきたことは幾たびも本誌で紹介してきましたが、反面で「言挙げせず」とも言われてきました。言葉を発しなくても日本人は以心伝心なんとなく心が通じ合い家族や社会や宗教的な秩序を保つことが出来る一面があるようです。

法律や規則で定められた訳でもないのに、自然災害時などで規律を失わずに行動がとれる稀有で不思議な国民性を有しているようです。その象徴的な出来事が、あの未曾有の大惨禍をもたらした東日本大震災で被災した方々の秩序ある助け合いの行動ではなかったでしょうか？世界中の人々から挙って称賛の声が上がったほどでした。

その秘密はおそらく日本語にあると考えられるのですが、一般的には理解出来ないことですので、そのお話を進めてゆきましょう。

日本語は世界で唯一の母音中心の言葉

日本語の一大特長は、世界にある6500から7000種ある言語の中で唯一、母音中心の言語であることです。日本語は子音中心の他の言語と違い、母音の持つ特長である母心、包容力、和の響きを豊かに持った言語なのです。

※ 母音は息の続くかぎり発声出来る音です。その代表的な音がア・イ・ウ・エ・オ、子音は瞬間音でありカ・サ・タ……etc の音。

この母音中心の平明で澄んだ日本語の響きの中に、どうやら日本人の国民性・調和の心を大切にしている深い理由が潜んでいるように思われてくるのです。

日本語を学ぶ外国人の多くが、日本語は「聞き取りやすい」「覚えやすい」「音の響きがきれい」との印象を持つようです。これは日本語の五十音が澄んだ響きを持っているからと言えます。

その証拠に外国人から「日本語は美しい」「心が癒される」と言われたり、日本語を話すようになると、多くの外国人の性格が穏やかになってゆくという事実です。

日本人と西洋人の脳機能は言葉によって違ってくる

このことを裏付ける論拠が、故角田忠信東京医科歯科大学教授の著書「日本人の脳」「右脳と左脳」の中に書かれています。

多くの調査実験データを基に書かれたそれらの著書の中で、角田教授は日本人は子音も母音も共に言語脳である左脳で認識するのに反し、子音中心の言語を使う西洋人は子音を左脳、母音は機械音や雑音同様に右脳で認識する。

また、小鳥のさえずりや虫の声、小川のせせらぎや風の音などの自然『音』を西洋人は右脳でノイズ的な音として聞かすが、日本人は左脳で会話のような『声』として聴いている。

そして6歳から9歳ぐらいまでの間に日本語の中で育った人は、人種や国籍に関係なく子音も母音も左脳で認識する『日本語型』の特徴を持つようになる・・・と。

自然音を左脳で「声」として聴く日本人の特性は、人種的なものではなく、あくまでも日本語に由来する。つまり外国人であっても日本語で育てられると、「自然の声」を聴くことが出来ると言うのです。



「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

さらに角田教授は「中国人・韓国人は人種的にも文化的にも関係が深いにも関わらず、子音と母音に対する脳の反応は西洋型である」と記しているのです。すなわち脳の反応を基点に西洋の言語と東洋の言語と分けると、日本語とポリネシア語以外は全て西洋的な言語反応をしているのです。

自然音を言葉のように理解する日本人

母音中心の五十音の言霊を話す日本人は、小鳥のさえずり、小川のせせらぎ、蛙の声、木の葉を揺さぶる風の音などなどを言語脳の左脳で聴き取り、その中から心を読み取る言語構造を有しているということです。

それ故に日本人は「人と人、人と物、人と自然」が調和する感性や能力を自然に身に付けることが出来ているのです。そこに他国・多民族には類例の無い和歌や俳句や謡、さらには世界で最も古い小説といわれるシェークスピアよりも、もっと古い源氏物語や枕草子等の天地自然を感受性豊かに受け止めた情緒性に富んだ文芸作品を数多く生み育んできたのではないのでしょうか。

この豊かな情緒性が人間相互の理解と融和にも有益に働くことはいうまでもありません。その情緒は視野の広がりとともに愛となり、自己愛から、家族愛へ、民族愛へ、人類愛に発展してゆくことは自然の流れであり、日本人の特長たる大和の心を育んできた、理解できてくるのです。

このように、脳機能に柔軟性がある9歳ぐらいまでの間に日本語を習得し日本語社会で育った人は、人種や国籍を超えて日本人型の脳機能を持つ。逆に日本人であっても9歳ぐらいまでの間に英語社会の中で育った人は西洋型の脳機能になるということは、人の脳機能は言葉によって決定されることを意味してくるのです。

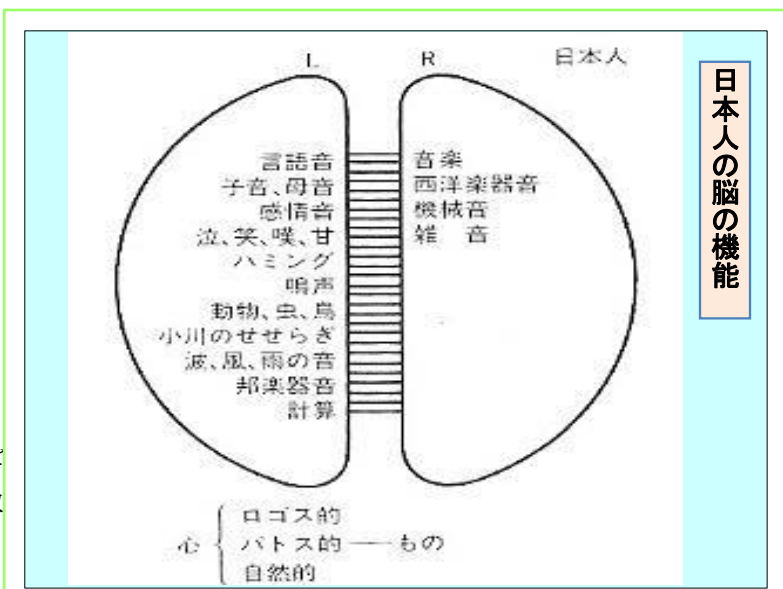
PCと対比すれば脳はハード、言葉はソフト、諸学問はアプリ

コンピューターは本体のハードと、機能をプログラミングしたソフトの両面があって初めてコンピューターの役割を發揮することが出来ます。もしソフトが無ければコンピューターはただの電気的なボックスに過ぎません。

同様に人間の脳と言葉はハードとソフトの関係にあるのです。日本語と言うソフトを入力すると人種・国籍に関係なく、右脳・左脳の機能が日本人型になり「人と人、人と物、人と自然」が調和する、日本人の特徴を發揮するようになるのです。

このように客観的に脳と言語の関係を考察しますと、如何に言葉というものが決定的で大事なものであるかが、誰にも理解出来る筈です。いや、「言葉より様々な専門的な学問の方が大事だ・・・」と考える人がいるかもしれませんが、総ての専門学や哲学や宗教にしても、一切の人間の知的創造的なものは言語をベースに成り立っているのです。ハードが脳、ソフトが言語と考えると、諸々の専門学等は総てアプリと見なせるのです。ですから言語は人間の精神活動の根幹に位置していると言えるのです。

[4頁に続く]



日本人の反応		日本人以外の反応	
左脳	右脳	左脳	右脳
言語半球	音楽脳	優位半球	劣位半球
言語音			音楽
「母音」	音楽	言語音	西洋音楽
子音			機械音
感情音	西洋音楽	子音	雑音
(泣き笑い)			「母音」
動物・鳥・虫の鳴き声	機械音	計算	感情音
川・風雨音	雑音		動物・鳥・虫の鳴き声
計算			川・風雨音
自然音			邦楽器音

「光の言葉で原点回帰 全ての人が救われる道」 宿谷直晃著 でくのぼう出版から発行

電話 0467-25-7707、お取り寄せください。ネットでの購読も出来ます。

定価 1400円 + 消費税

6月 光透波セミナーのご案内

● 「ワクワク光透波塾」 (第133回 光透波セミナー)

- 日 時 6月20日(月) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「因果の法則と光透波」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1)4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ● 参 加 費 3,000円

● Zoom入門講座 隔週火曜日

- 6月7日(火) PM 8:00~PM10:30 「②次元、生命のお話」
- 6月21日(火) PM 8:00~PM10:30 「③宇宙のお話」

● 「Zoom 光の言葉塾」

- 6月11日(土) PM 8:00~PM10:30 「立替え立直しの時代と光透波」
 - 講 師 宿 谷 直 晃 ● 参 加 費 3000円
 - ※Zoom 講座の申し込み先 syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037
- ※折り返し受講手続きと、Zoom接続の方法をお知らせいたします。

● 名古屋 命波学講座

- 日 時 6月7日(火) PM 3:30~PM6:30 和 や か 会
 - 日 時 6月11日(土) PM 1:00~PM4:00 和 や か 会
 - 日 時 6月24日(金) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第2回
 - 日 時 6月25日(土) AM 8:30~PM0:00 基礎講座 第5回
 - 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
 - 講 師 堀 尾 君 子 ● 参 加 費 各3,000円
- ※命波学受講希望の方は、日時調整しますので、お問合せください。090-8499-5989

● 名古屋 光透波塾

- 6月12日(日) AM 10:00~PM1:30 熱田神宮参拝と光透波講座の集い
 - 6月22日(水) AM 10:00~PM1:30 野外字割実践教室
 - 講 師 磯 部 賢 一 ● 参 加 費 各3,000円
- ※お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

● Zoom入門講座 午前の部 隔週木曜日

- 6月9日(木) AM10:00~PM 0:00 「自我のお話」
- 6月23日(木) AM10:00~PM 0:00 「生命と死のお話」

● Zoom入門講座 夜の部 隔週木曜日

- 6月9日(木) PM 9:00~PM11:00 「⑨平和のお話」
- 6月23日(木) PM 9:00~PM11:00 「⑩天鏡図のお話」

新装版「言霊・光透波の世界」 宿谷・磯部共著 ヒカルランド 全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。
定 価 2200円 + 消費税 光透波の会・宿谷までお申し込みの方は消費カット

●Zoom上級講座 午前の部 隔週木曜日

- 6月 2日(木) AM10:00~PM 0:00 「哲学と光透波」
- 6月16日(木) AM10:00~PM 0:00 「冥想と光透波」
- 6月30日(木) AM10:00~PM 0:00 「日月神示と光透波」

●講師 磯部 賢一

●参加費 各3,000円

※事前予約必要 Zoom 講座の申し込み先 isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

※個人レッスン(初級、中級、指導者養成クラス) ご相談に応じます。

●第12回、明石日本語セミナー

●日時 6月19日(日) AM10:00~PM 0:00

●場所 明石アスパイアウイズ明石 音楽練習室 1

●演題 「言霊を中心に・・・」

●講師 林 和也

●参加費 1500円

●講座の申し込み先 090-9118-7614 (林まで)

[2頁からの続き]

このように理解すれば人間が人間たる所以である創造活動の中で何が一番大事なものであるか?と問うたとき、そこに言語という存在が大きく浮かび上がってくるのです。ところが現代人は言葉の大切さ重大さに気づいていないのです。

光透波は言葉の乱れを正せる最高の哲理

脳の機能を決定づける言葉、その言葉が現在ほど乱れ狂い、間違っ使われている時代はないのではないのでしょうか?嘘、出鱈目、波動の荒い言葉、悪しき言葉、マスメディアが流す情報操作した策謀的な言葉、これらの狂った言葉が世の中を覆っているのです。

言葉は波動です。波動の乱れは心の狂い、そして世の乱れに繋がっていることに気付く必要があるのです。

光透波(コトハ)は、この言葉の乱れを正す道標として、古くから言霊の国と言い伝えられてきた日本語文化の中から誕生した文字の言霊学なのです。

実は現代人は気づいていませんが、言葉や文字の奥には宇宙の叡智=真理が秘められています。古くから言霊の国と言い伝えられてきた日本に必然的に誕生した「文字の言霊学=光透波」は、この変革の時代の道標として、言葉や文字の奥に秘められた真理や叡智を読み解くことができる哲理なのです。

詳しくは本誌案内の各光透波セミナーへ、ご関心のある方は下記案内のホームページ、又は各種の光透波関連の書籍をお求めください・・・。

宿谷

光透波の会

実光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀尾 君子
メールアドレス	s8910kimiko@yahoo.co.jp	090-8499-5989
光透波塾	名古屋市熱田区旗屋 2-16-4	磯部 賢一
メールアドレス	isobekk50@yahoo.co.jp	090-9199-0248
光透波ワクワク塾	東京都品川区小山 6-19-5	宿谷 直晃
メールアドレス	syu98-8do8@mbr.nifty.com	090-2447-2037
光透波・言霊セミナー	兵庫県加古郡播磨町西野添 2-5-12	林 和也
		090-9118-7614

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>